

# 外来担当予定表

<令和6年4月1日現在>

	月	火	水	木	金	土	
午前	1	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	秋山 (糖尿病・甲状腺内科)	中村 (循環器内科)	岩前 (呼吸器内科)
	2	松清(立) (腎臓内科)	関上 (循環器内科)	松本 (1・3週) (腎臓内科) 植木 (2・4週) (腎臓内科)		松清(立) (腎臓内科)	東大医師 交代制 (リウマチ科)
	内視鏡				小島 (2週・4週)		
午後	1				岩前 (呼吸器内科)		

※ ( ) は医師の専門科目であり、一般内科診療も行います。

※都合により、担当医師が変更となる場合があります。

※午後の外来診療は木曜日のみです。

※診療時間外の急患・救急対応を致しますので、受付もしくはお電話にてご相談ください。

《受付時間：(午前) 8時15分～11時30分 (午後) 2時30分～3時30分》

※木曜の初診・予約外は10時00分まで ※木曜日のみ

《診療時間：(午前) 9時00分～12時00分 (午後) 3時00分～4時00分》

※木曜日のみ

《休診日：日曜日、祝祭日、月～水・金・土曜日午後、年末年始(12/30～1/3)》



おうら病院  
オリジナルキャラクター  
けやきちゃん&ケアきち

患者様のご紹介は…

当院地域医療連携室までご連絡ください！

医療法人社団醫光会おうら病院

TEL: 0276-88-5678 FAX: 0276-88-5992

群馬県邑楽郡邑楽町篠塚3233-1



# けやき

おうら病院広報誌  
2024年4月号

## 今月のTOPICS

- 治療薬やワクチンなど支援策終了へ「新型コロナウイルス感染症」
- 診療実績～救急医療への取り組み～
- 防災訓練を実施しました
- 医師の退職のお知らせ



やさしさに出会う医療を やすらぎに出会う医療を そして生きがいに出会う医療を

### ◆おうら病院基本方針◆

1. 患者様の権利と意思を尊重し、合意と理解に基づく患者様主体の医療を行います
2. チーム医療を実践し、効率的・効果的な業務を遂行します
3. 感染対策を徹底し、安全な医療提供体制を構築します
4. 地域の医療機関・福祉施設と密な連携を図り、地域医療の発展に貢献します
5. 職員一人一人が技術のさらなる習得に励み、最良の医療の提供を目指します
6. 医療資源の適正利用と健全経営を継続します



新「けやきちゃん」&「ケアきち」

医療法人社団醫光会おうら病院

# 治療薬やワクチンなど支援策終了へ 新型コロナウイルス感染症



新型コロナウイルス感染症に罹患した患者等への支援策は、令和6年3月31日で終了となりました。  
令和5年5月8日に法律上の「5類」に位置付けられて以降も、特例措置としての支援が行われてきましたが、今年4月からは通常の医療体制での対応に完全に移行されます。

## 治療薬の自己負担

治療薬については、これまで最大9,000円の自己負担額で処方されていましたが、支援が終了となったことから、より高額となります。自己負担額は薬の価格によって変わりますが、例えば5日分が処方される場合、「ゾコーバ」では1割負担の方で約5,200円、2割の場合は約1万300円、3割の場合は約1万5,500円が請求されることとなります。同じく治療薬の「ラゲブリオ」においては、1割負担の方で約9,400円、2割の場合は約1万8,800円、3割の場合は約2万8,200円、「パキロビッド」は1割負担の方で約9,900円、2割の場合は約1万9,800円、3割の場合は約2万9,700円となります。



## 入院診療費

新型コロナウイルス感染症に罹患し、重症化のリスクがある場合等に、入院して治療を受けると「高額療養費制度」を適用した上で、さらに最大で1万円が補助されてきましたが、こちらの補助も終了となり、他の病気と同じ扱いとなります。

## ワクチン接種

これまでの、全額公費負担で無料で接種を受けることができましたが、季節性インフルエンザなどと同様に、原則費用の一部自己負担を求める「定期接種」で行われます。

定期接種の対象は65歳以上の高齢者及び60歳から64歳で基礎疾患のある重症化リスクの高い人となります。今のところ厚生労働省は、自己負担額を最大7,000円程度にする方針です。

上記対象者以外の方は「任意接種」となるため、医療機関ごとに設定した自己負担額となり、7,000円を超える見通しです。

当院も、当初から邑楽町の委託により町民の方の接種を受け入れて参りましたが、3月29日をもって終了となりました。



## 診療実績 ～救急医療への取り組み～



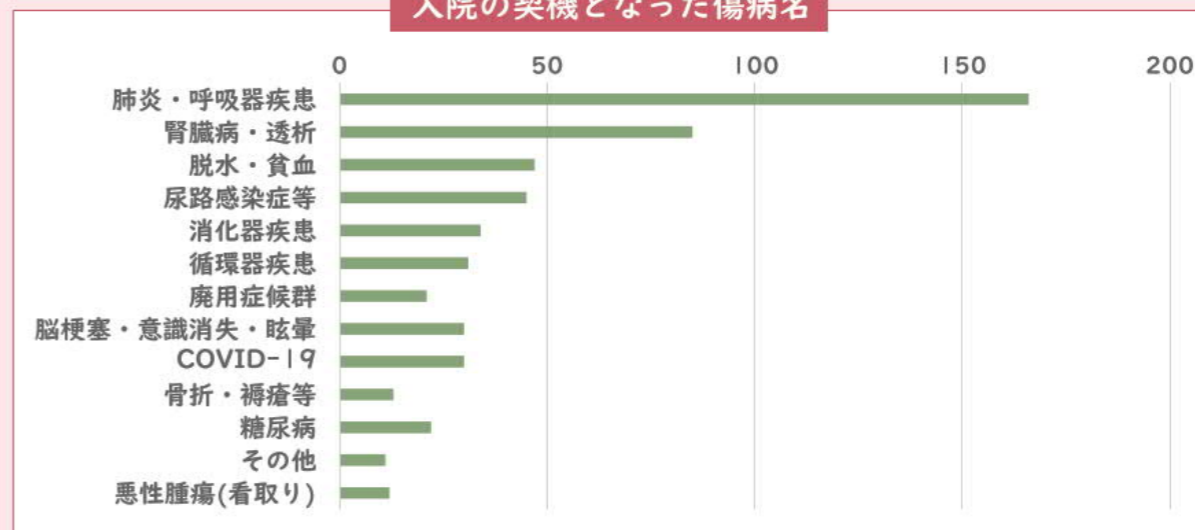
令和3年6月に救急告示医療機関の認定を受けてから、今年で丸3年が経過します。認定以前は、年間50件程の受入件数でしかありませんでしたが、令和5年度は200件を超える受入となりました。地域的にも、救急車の依頼件数は年々増加を辿っております。

### <救急車受入件数の年度推移>

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
54件	94件	137件	200件超

特に、高齢者の体動困難や発熱を伴う状態の方の受入数が増えており、場合によって早期手術や当院では対応できない治療を要するような状態と検査等で判断した際には、中核病院への転院依頼をさせていただきます。一方では、一度中核病院に収容された方であっても、状況によっては継続的な治療のご依頼を当院にいただく件数も増加しております。こうした中核病院の急性期としての機能を維持することができるためにも、地域の救急医療にできる限りの貢献を果たすことを念頭に、体制構築に取り組んでおります。

### 入院の契機となった傷病名



## 防災訓練を実施しました

当地域に震度6弱の大地震が発生し、厨房からの火災、電気、ガス、水道、通信をはじめとするライフラインが途絶したことを想定し、初期消火、災害対策本部の設置、非常用発電機回路へ医療機器電源の切替え、患者様の誘導など、邑楽消防署員の監修のもと、各部署担当者の役割を確認しながら訓練を実施しました。

災害はいつどこで発生するかわからず、未然に防ぐことは不可能ですが、万への備えて被害を最小限に食い止めることができるよう、今後も人的体制、資機材・備蓄の整備に一層取り組んで参ります。



## 医師の退職のお知らせ

3月31日付で常勤泌尿器科の須藤利雄医師が退職致しました。当面、木曜日午前の外来診療は1診のみとなります。予約のない初診の方は10時までの受付とさせていただきますので、予めご了承ください。